

学校教育目標	「つなぐ 学ぶ 挑む」 仲間・地域・社会との繋がりを大切にします。 教科学習や体験を通じた学びを大切にします。 主体的・積極的にチャレンジし続ける姿勢を大切にします。 ↓ 予測困難な厳しい状況にあっても、他者と協働して課題解決を目指し、たくましく生き抜く資質・能力を南中LIFEを通して身につける。				
	創立 76 周年 児童生徒数: 493 人	学校長 藤宮 学 主な関係校: 井土ヶ谷小学校・大岡小学校・(六つ川小学校)	副校長 阿部 みゆき	3 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	南中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・言語能力 ・問題発見、解決能力 ・持続可能な社会に貢献する力 ・共生・協働・協調する力 	南中学校 井土ヶ谷小学校 大岡小学校	「自主性」「自己肯定感」「コミュニケーション力」 ・粘り強く物事に取り組める子ども ・相手の話を受け入れ、さらにより良いものを目指す子ども ・あいさつができる子ども ・ブロック授業研究を行うと共に、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点」からの学習意欲を高める授業をテーマに教科研を進める。 ・中学校において、部活動体験などの交流を行うことにより、中1ギャップを解消する。 ・子ども像を共有しながら児童生徒指導や特別支援教育の情報交換を行う。

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 主体的に仲間や地域、社会とのつながりを求め、多様な人々との協働を通して学ぶ姿勢を育みます。 ◇ 課題解決に向けて、自他を尊重しながら粘り強く合意形成をめざす力を育みます。 ◇ 社会人としての「自立」に必要な生きる力を育み、自己肯定感を高めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力 担当 学習指導部	☆基礎的・基本的な学力を定着させるために、指導方法の工夫や個に応じた指導、家庭学習の習慣付けなどを行う。また、自らの考えを発表したり、相手の考えを聞いたりして、より主体的に学習に取り組めるように「主体的・対話的で深い学び」の考え方を取り入れた授業展開を研究していく。
徳 豊かな心 担当 道徳・人権・国際理解委員会	①学校生活全般を通してコミュニケーション力を高め、一人ひとりが成長を感じられる指導やフィードバックを大切にします。 ②他者とのかかわりを通して自分の存在を肯定的にとらえ、自らの働きかけで人の役に立ったり人に喜んでもらえる経験から得られる「自己有用感」が持てる指導に努める。 ③相手の話に耳を傾け、他者を尊重する心を育てる道徳教育を学校全体で連携して目指す。
体 健やかな体 担当 保健体育科、保健安全指導部	①新体力テストの結果を本年のみでなく継続的に検証し体力向上に意欲を持って取り組めるように指導していく。 ②学校保健委員会の活動を推進し、食生活や生活習慣を中心とした健康教育の充実を図る。 ③新学指導要領の実施に伴い、学習活動を適切な評価に繋げるための取組について進めていく。
公開 現代的諸課題への対応 担当 教育課程委員会	☆南区・横浜ならではの財を生かした体験的な命の学びを実践する。 ①横浜大空襲や沖縄戦の学習を南区・横浜や沖縄の人・ものとつながって行き、足元を見つめる平和学習 ②「助けられる人から助ける人へ」を目指し、地域とともに学ぶ防災学習
いじめへの対応 担当 いじめ防止委員会、生徒指導部	①学校生活や日頃の生徒との関わりの中でいじめを許さないという考えを一人ひとりに定着させる。生徒指導部と連携した教育相談や生活アンケートにより細かな変化を見逃さない体制をつくる。また、教職員対象のいじめ防止研修を行い、全教職員がいじめに対する感度を高くする。 ②いじめ防止対策委員会を開催し、認知された案件の経過確認をていねいに行うことで再発防止に努める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 主幹・学年主任会	①校内授業研修やメンターチームなどの研修会を充実させる。キャリアステージに応じた各種研修会を積極的に活用し指導力や資質の向上を目指す。 ②組織の活性化、効率化を目指し、主幹教諭や各主任等でより良い学校運営に向けて検討していく。また、分掌や教科等の引継ぎや日々の働き方改革の視点から、材の共有を積極的に行い、職員の負担軽減についても検討していく。
地域連携 担当 生徒指導専任、主幹・学年主任会	地域行事や地域防災への参加ボランティア活動、職場体験、福祉施設との交流を通じて、地域と相互に関わり合う中で、生徒の健全育成を目指すために、新しい生活様式の中での取組を検討し、実施する。
キャリア教育 担当 総合的な学習委員会	①身近な人たちや地域との関わりを通して自己を見つめ、自分の生き方を考える。 ②職業講話、職業調べ、職場体験を通して自身の適性を知り、自己理解を深めるとともに、自分自身の適性を活かせる具体的な進路に結び付ける。
児童生徒理解 担当 生徒指導部、特活指導部	①教育相談を各学期に実施し、年間を通して生徒の状況の把握と共に、新型コロナウイルスによる生徒の心理的不安を解消できるように努める。 ②生徒指導部会を複数回実施し、今後も新しい生活様式に対応できるような提案をしていく。また、一人ひとりの生徒について情報を共有し、組織的な対応を行う。 ③Y-Pアセスメントを活用し、社会的スキルの育成状況を把握する。
特別支援教育 担当 特別支援教育委員会	☆全教職員で取り組む特別支援教育「見えにくい生徒への組織的な支援」の実施 ①生徒指導、特別な支援・配慮が必要な生徒、外国籍及び外国につながる生徒、不登校生徒を対象とする広い意味の特別支援教育の推進。全教職員で取り組む校内ハートフル事業「みなみらい」の実施。